

# 大垣北高 関東同窓会 報

第 35 号

平成 26 年 9 月 1 日 発行  
大垣北高 関東同窓会 事務局  
横浜市 都筑区 牛久保西 4-3-17

堀内 津子 方

TEL 045-913-7638

## 大垣北高

### 関東同窓会 総会のご案内

今年度の大垣北高 関東同窓会 総会 および懇親会を、左記の通り開催することになりましたので、ご案内いたします。

新学制の大垣北高が誕生してから六十五年あまり、多くの卒業生を輩出してきました。その仲間たちと自分の青春を重ね合わせ語り合うことは、何よりも楽しいことであり、これからの活力の源となるものです。会場に飛びかう大垣弁があなたを即高在校生に戻すでしょう。

会場は地下鉄表参道駅 A5 出口を出て約一分と大変便利な所にあります。

お誘い合わせの上、多数ご参加下さるよう心からお待ちしております。

記

日時 平成二十六年十月五日(日) 正午より

会場 NHK「青山荘」せいざんそう 櫺の間(大ホール)

港区南青山五―二―二十

電話(〇三)三四〇〇―三三二一

会費 壹万円

(年会費二千円を含む)



大湧谷より望む 北高1回 小俣 牧雄 撮影

## 赤坂の呑龍さん

北高七回 戸田 龍定

私にとっての年中行事、赤坂の子育て呑龍さんの祭りに、お手伝いに行くのが何よりの楽しみであり、又ふるさとを離れた者にとって、懐かしい思い出でもあります。

今春も四月上旬、生家に五日間滞在、お会式(おえしき)に参拝し、横浜市金沢文庫の自宅に戻ったところ天清院呑龍さんのご紹介を寄稿するようにとのお手紙を頂き、何というタイミングかと、ご縁の深さに感じ入り筆をとりました。

天清院は今から三四十年まえにできた、法然上人の流れをくむ浄土宗のお寺です。大垣藩二代目戸田氏信公の子息、戸田氏親公の菩提所として、寛文十二年(一六七二)この地に建立され阿弥陀如来を本尊とする念仏道場であります。

呑龍大士(一五五六〜一六二三)は、江戸時代の高僧で、増上寺で学修されました。関東で学徳兼備の誉れ高かった上人が、徳川家康公の請により群馬県太田

の大光院の開山となられました。

当時は凶作、飢饉が相次ぎ農家では口減らしの為、子供を売買することさえ行われていました。これを見るに忍びず子供を弟子の名目で寺領の中から養育費を捻出して親代りになり、寺子屋では読み書きを教えました。世間では、この慈悲行をみて『子育て呑龍さん』と呼ぶようになったと伝えられています。

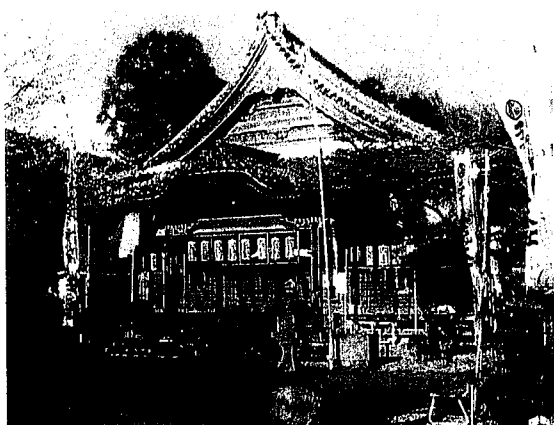
天清院が呑龍大士の分霊場となったのが明治十五年。それ以降、育児健康、虫封じ、安産祈願のお寺として知られるようになりました。例年四月第一日曜日はさんで三日間、呑龍大士お会式として本尊を開扉し、中学卒業までの男女、十五才を区切り、お弟子として呑龍上人の御加護を授かるといいます。この三日間には千数百名の親子連れが、地元、県内はもとより愛知県など遠くからも多くの参拝客が訪れています。

昨年から二カ年計画で先代の遺志をつぎ、現住職(戸田台真、北高二十七回)が老朽化激しい阿弥陀堂を解体、この際一体化し、山門の正面に呑龍大王堂を移築し、玄関、書院を新築、庫裡も改築、

お会式にふるまう御齋(おとき)のおもてなしが満足にできるよう総伽藍を一新し来春に備えております。

祭礼もすぎ帰宅の朝、金生山(虚空蔵サン)に登り、今も変わらぬ静寂そのもの、鶯の鳴き声、桜満開の金生神社、化石館、山道もきれいに舗装され、眼下に西濃が一望できる自然遺産、山の中腹には近代的な炉が立ち並び、石灰産業のすさまじさを感じつつ、歩いて往路一時間半、至福のひとつときでした。

この寺の七男に生まれ、今年は喜寿、八十になっても元気に山登りができる事を念じつつ、帰路に着きました。



百座登頂報告

大垣在住・北一回 松岡 豊

再度のお便り有り難うございます。自分で決めた一〇〇座、やっと登り終える事が出来ましたので、お勧めに従い感想を含めた報告文をお送りします。

七〇歳から一〇年間の予定でしたが、七九山目の後脳梗塞を発症し、三年間お休みし昨年やっと体調が戻り残っていた二一山を先日完了しました。

最初は日本百名山と思っていましたが新日本百名山にもなかなか楽しい山があり、体力からも無理のない新日本百名山を取り入れました。特に北海道の礼文岳、恵山、岐阜県の大日ヶ岳、福島県は一切経山（井上靖氏命名）などは非常に感動する山でした。最後の百山目は千葉県の鳥場山で高さは六〇〇m位ですが伊豆大島の災害のあとで大変でした。東京からの内房線が土砂で埋まって不通になり外房線で行きました。目的駅が、内房線の終着駅と外房線の終着駅の中間にあり、特急の駅と駅の中間に五駅あり何方から

も三番目の駅で、電車の連絡は非常に悪く大変でした。その先も暴風の為、大きな木が何本も倒れて登山道をふさぎ予定を遙かに超えて時間がかなり大変でした。しかし踏破し終えた今では逆に良い思い出です。

私の部屋には第一座の福井県大野市の荒島岳頂上の写真パネルから第百座の鳥場山のパネルまで一〇〇のパネルが毎夜私を見下ろしていています。

- 一〇山目の大分県の九重山、
- 二〇山目の青森県の八甲田山、
- 三〇山目・富山立山、四〇山目・群馬県草津白根山、五〇山目・新潟県苗場山、六〇山目・新潟県火打山、七〇山目・神奈川丹沢山、八〇山目・長崎県普賢岳、九〇山目・ドンデン山、一〇〇座目鳥場山と、いつか来垣の折に見て頂きたいと思ます。ご自愛下さい。

松岡 豊 古希からの日本百名山と新日本百名山 百山までの登頂記録

01	荒天筑宮開伊霧阿九岩大十旭恵斜乘葉霧八吾安運大刺石立石	1,523m	12.08.29.	36	白	常	御前	石	川	2,702m	14.07.23.	71	高	妻	山	玉	2,353m	19.06.12.
02	城	1,406m	12.11.18.	37	山	山	山	山	山	3,776m	14.07.29.	72	魚	沼	崎	崎	2,003m	19.06.19.
03	之	877m	12.12.03.	38	山	山	山	山	山	2,530m	14.09.24.	73	八	ヶ	新	玉	2,899m	19.08.11.
04	間	1,935m	13.04.02.	39	山	山	山	山	山	2,950m	15.06.21.	74	平	ヶ	山	山	2,141m	19.09.19.
05	吹	922m	13.04.04.	40	山	山	山	山	山	2,160m	15.06.22.	75	燈	ヶ	山	山	2,356m	19.10.04.
06	伊	1,377m	13.04.28.	41	山	山	山	山	山	2,354m	15.06.23.	76	普	見	山	山	1,967m	19.10.06.
07	阿	1,700m	13.05.15.	42	山	山	山	山	山	1,898m	15.07.08.	77	燈	馬	山	山	3,052m	20.08.09.
08	相	1,529m	13.05.16.	43	山	山	山	山	山	3,067m	15.07.28.	78	五	電	山	山	2,932m	20.09.05.
09	宮	1,756m	13.05.17.	44	山	山	山	山	山	1,721m	15.08.27.	79	普	馬	山	山	2,814m	20.10.04.
10	大	1,787m	13.05.18.	45	山	山	山	山	山	2,578m	15.09.29.	80	黑	野	山	山	1,359m	24.04.06.
11	旭	1,625m	13.06.09.	46	山	山	山	山	山	2,484m	15.09.30.	81	英	佐	山	山	516m	24.04.08.
12	十	1,695m	13.06.24.	47	山	山	山	山	山	2,230m	16.07.14.	82	弥	福	山	山	1,200m	24.04.10.
13	旭	2,077m	13.07.02.	48	山	山	山	山	山	2,599m	16.07.15.	83	志	廣	山	山	530m	24.04.12.
14	那	2,290m	13.07.04.	49	山	山	山	山	山	2,455m	16.07.25.	84	志	野	山	山	1,037m	24.08.01.
15	里	2,190m	13.07.15.	50	山	山	山	山	山	2,145m	16.09.13.	85	六	鹿	山	山	931m	24.09.27.
16	長	1,547m	13.08.24.	51	山	山	山	山	山	2,228m	16.09.15.	86	鳳	兵	山	山	684m	24.09.29.
17	長	3,026m	13.09.02.	52	山	山	山	山	山	2,039m	16.09.23.	87	神	神	山	山	1,438m	24.10.21.
18	野	2,034m	13.09.03.	53	山	山	山	山	山	2,475m	16.10.16.	88	沼	静	山	山	392m	24.10.22.
19	野	1,925m	13.09.03.	54	山	山	山	山	山	1,133m	16.10.24.	89	於	野	山	山	526m	25.04.14.
20	青	1,584m	13.09.24.	55	山	山	山	山	山	1,915m	16.10.25.	90	天	野	山	山	940m	25.05.08.
21	福	2,035m	13.10.01.	56	山	山	山	山	山	1,963m	17.08.11.	91	瀧	京	山	山	572m	25.05.27.
22	福	1,700m	13.10.14.	57	山	山	山	山	山	2,144m	17.09.09.	92	上	東	山	山	531m	25.07.03.
23	田	1,819m	13.10.15.	58	山	山	山	山	山	1,828m	17.09.19.	93	岩	北	山	山	490m	25.07.05.
24	山	1,614m	13.10.16.	59	山	山	山	山	山	2,158m	17.09.20.	94	文	海	山	山	618m	25.07.08.
25	山	1,841m	13.10.21.	60	山	山	山	山	山	2,462m	17.10.12.	95	野	道	山	山	1,709m	25.07.28.
26	山	1,984m	13.10.22.	61	山	山	山	山	山	2,454m	17.10.13.	96	大	道	山	山	422m	25.09.05.
27	山	1,915m	14.05.06.	62	山	山	山	山	山	1,963m	17.11.02.	97	飯	道	山	山	1,506m	25.09.06.
28	山	1,955m	14.05.25.	63	山	山	山	山	山	2,404m	18.06.01.	98	野	道	山	山	825m	25.09.24.
29	山	1,982m	14.05.26.	64	山	山	山	山	山	2,057m	18.07.30.	99	登	道	山	山	1,949m	25.09.25.
30	山	3,015m	14.06.05.	65	山	山	山	山	山	3,033m	18.08.07.	100	一	道	山	山	578m	25.10.18.
31	山	1,917m	14.06.11.	66	山	山	山	山	山	2,236m	18.09.30.							
32	山	1,711m	14.06.19.	67	山	山	山	山	山	2,967m	18.10.30.							
33	山	1,611m	14.07.04.	68	山	山	山	山	山	2,017m	18.11.13.							
34	山	1,499m	14.07.06.	69	山	山	山	山	山	1,723m	18.11.22.							
35	山	2,141m	14.07.09.	70	山	山	山	山	山	1,567m	18.11.30.							

★印=同行：松岡 龍 登頂 ○印=同行：川原 登頂

## 小説『鉄の骨』の紹介

北高七回 中島瑤子

著者の池井戸潤さんは一九六三年生まれ、北高の卒業生で著書に『下町ロケツト』『空飛ぶタイヤ』『BT六三』等々多数。

主人公の宮島平太は大卒、中堅ゼネコンに就職して四年目。建設の現場担当から、訳もわからず一名談合課とも呼ばれる業務課に突如転任。工事入札の仕組みを初めとして入札価格の算定、下請け業者と過酷な単価交渉、談合仕切り屋との根回し、競合他社との腹の探り合い等々平太が一から実地に学んで行く過程によって、読者が業界内部の理解を次第に深めていくようプロットされており、危うく談合に必要悪を納得させられそう。

スケールの大きな尾形常務、神経質そうな兼松課長、脂肪太りの西田先輩、事務員理紗と平太が入札に、調整準備に日夜奮闘するストレス満杯の職場ながら、どこか温かい信頼関係がこのセクションにはある事が読者に読み続けさせます。

体力の弱い中小の建設業者群も談合、調整によって順番に受注していけば細々

とでも食っていける。又発注する側も既存の業者が毎年順番に落札していけばその仕事ぶりや仕上がり心に心配がない。両者のもたれあいの中、指名業者の決定、談合の打合せが進行して入札日が近づくと正義感もあらわに談合破りを目指す業者が出現して平太達は苦渋を味わう。

次に狙うのは二千億円前後の地下鉄延伸工事。ジョイントベンチャーを組む企業が多い中「単独でやる」と勝負を掛ける尾形常務、「恐れるものは何もない」と体の底から沸き上がる武者震いを感じた平太だったが、積算見積りなど実務では西田先輩に到底太刀打ち出来ない。「実力のせいではない、経験がないんだチャンスを生かせ」と逆に励まされる。

尾形常務に誘われて行った競馬場で関東一円の大規模な談合調整を仕切る大物フィクサー三橋萬造に引き合わされる。アザトイ計算が裏にある事を平太はまだ知らない。急病で倒れた母を故郷に見舞った平太に母は無意識の内にふと呟く、「おばあちゃんちの裏の畑のりんごの苗木、萬造さんに届けてちょうだい」と。後々三橋の豪邸の庭にりんごの木が、

また母の病室の花に六本木の有名な花屋の札がかかって居たりして、一陣の涼風が読者の胸に吹き込む。

「昔を懐かしむのもいいが過去を羨んではいけない、決してな」と平太を諭す三橋だが、一方で談合調整の場では政治的シガラミを一身に受け止めて巖の如き存在を示すフィクサーでもある。

政官業を含んだ談合の摘発を目指して密かに進行する検察の動きが物語にサスペンスの様相を色濃く与える。

その他にも是が非でも金を借りたい弱小業者、対、弱い体質の企業には金を貸そうとしない銀行など様々な対立軸が盛り込まれていて読者は息つく暇もない。

積算額が単独落札のレベルまで到底下らない事に業を煮やした西田先輩は地下鉄工事に強い社の技術力を結集させて新工法を提案し積算額の大幅削減を可能にしてみせる。三橋の主導する談合を受け入れるか、拒否するかギリギリの決断が尾形常務に託される。他にも方法があるのか、どう動くのか。はたまた地検特捜部の察知力はどこまで届くのか。この地下鉄工事の入札合戦は最後にぶるぶる

つとするような結末を迎える。

こうした企業物の構成の中に程よく散りばめられた女性像が、どれも秀逸で物語に温かなフクラミを与えている。「人間五十年も生きていると普段考えていることや性格が顔つきに滲み出てくる」と話す平太の母八重、平太の会社に金を貸さない銀行に勤めている恋人萌、談合に呑み込まれていく彼を心配しつつも、行内の情報を平太に与えない萌、エリート銀行マンの園田が萌との結婚を強く望み自宅に招くが、彼の母親の言葉が又とびつきり素晴らしい。「自分がおもしろいと思える仕事は大事にしたほうがいいわよ、萌さん。それも一つの出会いだから」「人生なんてあつという間よ」などと言う。息子に皮肉な結果をもたらす事になるにもかかわらず。

最後、遂に特捜部が動きニュースが流れる「大手ゼネコン四社を一斉家宅捜索」平太も任意で取調べをうける。ようやく解放されて取調室を出るとそこに萌が。「萌…仕事は?」「バカ」と大粒の涙。企業の厳しさ、人の暖かさを合わせ描き切った素晴らしい本です。ご一読を!

### 表紙の写真説明

北高一回 小俣 牧雄

今年に入って今度の会報の表紙を何にするか畿人かのカメラ好きに尋ねてみた。世界遺産の富士山が一番やと話には出るが、撮り溜めた中から出してくれと頼むと、「昔から日本人の心をとらえて来た山、聖徳太子絵伝を始め富岳三十六景等、美しい四季を通じて描く人、撮す人いずれも一流中の一流の人ばかり、トッテモ手も足も出せん」という答えばかり。恥をかくのは自分にセニアシアナイカと拙撮のヤマの中から引つ張り出したこの写真、来歴は以下の通り。

北高四回の山男、林文雄氏と小林当志子さんの企画で箱根駒ヶ岳から元宮を経て神山一四三八米登頂して大湧谷までの散策を、御一緒に如何ですかとの電話に私ども三名を含め十五人、箱根駒ヶ岳口1プウエイ駅に集合、駒ヶ岳双子岳などと中央火口丘を形成している古代山岳信仰の霊山神山から大湧谷まで、一時は大塊石群の乗越に苦労の大汗をかく。大湧谷の煙が見えてホッとし茹黒玉子を頬張

りつつ開けた谷を見れば、唱歌の通り四方の山を見下ろす霊峰富士に出会いました。時は平成三年一月一〇日、今を去る二十三年前の記録写真です。同行の間には鬼籍に入った方もいますが、写真の中では時を止めて変わらず若々しく微笑んでくれています。友と満喫した富士は尽きず、変わらぬ富士、ヤッパリ富士は素晴らしく輝く世界遺産ヤ!



## 我が家の家庭菜園

北高一二回 藤本 悦子

狭い庭で全く素人の自己流家庭菜園を披露することは、おこがましく恥ずかしい限りですが、投稿のご依頼にこたえ、勇気を出してお届けします。

我が家の庭では、クリスマスローズに始まり今や十五種類程の花が咲いています。昨秋、種を蒔いたトルコ桔梗は、本当に咲くのかしらと、はらはらしつつ見守っています。大垣の庭にもあったアマリリスや百日草も、毎年登場します。

最近では花より団子！で、花は傍へ追いやられ気味です。以前、北高の会報でも話題になっていました「ささげ」を何年も作っていましたが、遂に途絶えてしまいました。今年は、定番の夏野菜に隠元、万願寺とうがらし、小玉スイカ等を試みます。その他、レタス、いちご、にんにく、空豆（大垣弁はトマメ？）、葱、ニラ、エゴマ等が育っています。

私は揖斐川沿いの田舎で育ちましたが、農業を学んだことはありません。団地生

活から府中の田舎の分譲地に来て、土に触れる楽しみが甦りました。

最近では近くにホームセンターが出来、更に拍車がかかって来たようです。この冬には、鶏糞に加え、庭中、糠を撒いたせいか、裏の茗荷の勢いが違います。

果物は失敗が多いですが、蜜柑は毎年よく採れ、味もなかなか、近所に配ったり、ジャムを作ったりします。

野菜など、不揃いでまともな物は出来ませんが、ほぼ無農薬で新鮮さのみがトリエと思っています。また土に触れ、成長を楽しみ、自分のストレス発散になっているかとも思います。同時に、植物は殖える物が多く、皆さんに貰って頂いて地域の方々との交流にも役立つようです。これからも体と相談しつつ続けて行きたいと思っています。

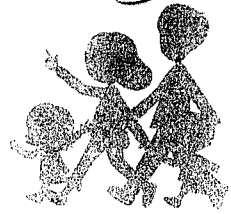
以下、つれづれに作った句です。

- ◇庭に摘む菜の花サラダほろにがき
- ◇をちこちに出でしトマトのこぼれ種
- ◇茗荷の子留守のポストに届けたり
- ◇もぎたての空豆青く匂ひけり
- ◇棲みつきし蛇に二度逢う日和かな



# 行ってみよう

## ♡ 姫 街 道 ♡



○ 中山道六十九次のうち今須宿から落合宿までの美濃十六宿は姫街道と呼ばれる。

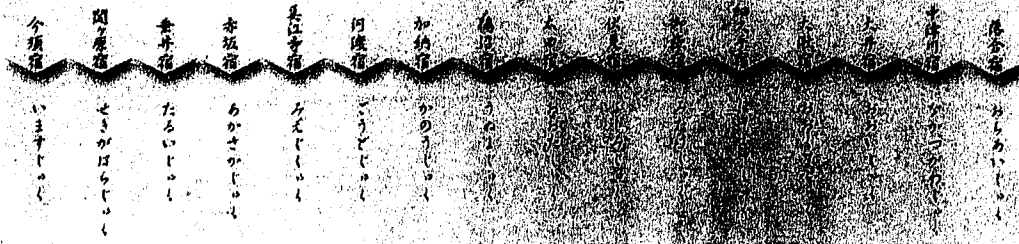
○ 特に皇女和宮一行が宿泊した赤坂宿、十三代徳川家定に嫁いだ有姫が泊まった垂井宿などが有名で、將軍家にこし入れた六人の姫君がこの道を通っていることから姫街道の異名が生まれた。

○ 国道二十一号、名神高速、中央高速沿いにあるだけでなく、北国街道、谷汲巡礼街道、伊勢街道などの分岐点としても、往時から整備され、歴史、文化面で重要な位置付けにある。

〔日経二〇一四・五・一五朝刊文化欄、太田三郎氏（垂井町在住・郷土史家）の論考参照〕

(MW)

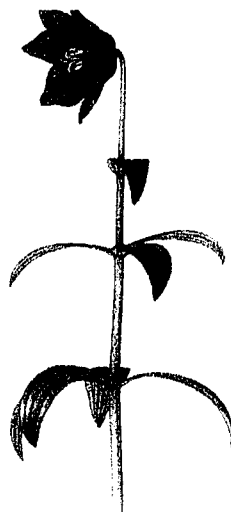
### 姫街道十六宿



# 草花の絵はがき

北高二二回 高津由美子画

Illustrated by Y.Takatsu



## 客船クルーズ随想

北高十回 大石アケミ

### ◎花よりクルーズ?

私達夫婦はいまだ二分咲の桜に心を残しながら二〇一四年三月十七日、総トン数九〇、四〇〇トンのクイーンエリザベス号に横浜港から乗船し、二〇日間のシンガポールへのクルーズに出発しました。以前のQ・ヴィクトリア号での地中海クルーズがとても楽しかったセイもありますが、何といっても今回がQ・エリザベス号の日本初寄港という又とないチャンスなのが最強の魅力だったのです。

### ◎潮もかないぬ

出航前日十六日の真夜中にオーストラリアから二週間の旅を経て横浜港の大棧橋に接岸したQ・エリザベスから、四〇〇人の外国人客が下船し、十七日は四〇〇人の日本人が乗船して午後十一時半に出航しました。超大型船のため海面からの高さが五四・五メートルもあり、干潮時しかベイブリッジをくぐる事ができず、入港出港ともにこの時間なのです。

真夜中というのに一万人の見物があの長い棧橋を埋め尽くし、歓呼とともにペンライトを打ち振って見送ってください。船の出航でなければ味わえない素晴らしい感動です。それにしても潮待ちして夜に船出なんてナンダカ大昔みたいぬ。

### ◎危つきに近寄りず

二日後に神戸に入港、外国人の多くは京都まで足を伸ばし、きつと素晴らしい時を持ったことでしょう。その後、私の淡い期待はミゴトニはずれ、この船は瀬戸内海を通れぬとのことで太平洋へ逆戻りします。長さ二九四メートル、幅三二メートル、喫水八メートル、その大きさがチョッピリ恨めしい。

その二日後の長崎では、浦上天主堂と原爆資料館に寄り、原爆の悲惨さに改めて強いショックを受け、複雑な気分がしばらく続きました。大変でしょうけど、トウデンさん頑張ってください。

### ◎海浜都市もイロイロ

夕方に長崎を出航した後、外海を一路釜山、上海、厦門、香港へ。  
上海では建設ラッシュが続いていて浦東地区では高層ビルが林立しています。

又、香港も埋め立て地の空港や北京からの新幹線の地下駅建設など各種の工事が猛烈な勢いで進められています。そんな中、山と山を結ぶ世界一長い五七キロのロープウェイに乗りましたが、そこからの眺めはマサニ圧巻でした。

十五日目にはベトナムのハロン湾に到着。ここは海の桂林といわれ、様々な奇岩が立ち並ぶ湾です。喫水八メートルの私達の船は棧橋に着けることができず沖合に停泊し、テンドーボート(救命艇)に分乗して上陸します。湾には大きな鍾乳洞もあります。特に面白いのは小さな舟でお土産を売り食事も出しそれで生計をたてている舟が沢山あり、まるで一つの村のようでした。小学校まであるとの事。そして船は最後の寄港地シンガポールに着きます。アジアの金融センターとして発展をとげ、活気に溢れています。新しい埋め立て地に有名ホテルのマリーナサンベイズやサッカー場、植物園などが建設されており、チャンギ空港も新しくなっていました。

### ◎勇なきこあし

このように私達のクルーズは安全第一



に且つ快適に進行しましたが、運航しているキュナード・ライン社はイギリス発祥の百三十年以上の歴史を誇る名門で、Q・メリー、Q・ヴィクトリアなどの豪華客船の運航を担っています。乗客に迎合して危険を冒し座礁したイタリヤの船とは異なり、厳しく安全を墨守している会社のようなのですが、その歴史をみれば、かのタイタニック号の遭難事件の際に救難信号を傍受し闇夜危険漂う海域を遠路救助に駆けつけて九〇五名の命を救ったという英雄的な行為で知られているカルパチア号は、実はキュナード社の所有する船だったといえます。サスガ老舗は奥が深いですね。

### ◎ 終わりはハジマリ？

私達はシンガポールで下船して飛行機で帰国の途に。長いようで短い二〇日間の旅から帰ってみると桜の花はトウに終わっていて川面に花筏を浮かべていました。どんな季節にも美しさを見せてくれる日本の自然に感謝しつつこれからの日々を健やかに過ごしていきたいと願っています。願いつつも次は国内になるのかな？京都の高台寺などどうかしら。

## 岐阜県西濃会の発足

杉野 由和

このほど広く西濃地区出身者による同郷組織として、新たに「東京岐阜県西濃会」がスタートした。今後の多様な活動が期待されるが、杉野会長に設立の趣旨などについて寄稿してもらった。

本年一月十七日、東京ガス青山クラブ（東京都港区南青山六一二一五）にて東京岐阜県西濃会の創立総会を開催しました。

岐阜県の西濃地区は、いうまでもなく岐阜県における産業の主要地域の一つです。岐阜県に本拠を有する上場企業二九社のうち、西濃地区に本拠を有する上場企業は西濃ホールディングス、イビデン、大垣共立銀行をはじめ十社あり、岐阜・羽鳥地区の十二社に全く見劣りしません。また、岐阜県は元来教育先進県であり、例えば、明治十年における岐阜県の学齢児童就学率は、全国平均三九・九%に対

して五五%超と、大阪府、東京府、長野県、石川県に次ぐ高さでした。

西濃地区においては、明治初期の開化政策の中で、明治十八年に戸田鋭之助及び金森金四郎らの尽力によって大垣郭町に大垣英語学校が開校しました。これは民間英語教育の先駆的存在であり、往時には一〇〇人超の生徒を擁し、卒業生は上京して直ちに各種の学校に合格するレベルであったといえます。

大垣出身の羽根田幸之助が大正三年に文京区本郷に完成させた「菊富士ホテル」は、谷崎潤一郎、竹久夢二、尾崎士郎、宇野千代、大杉栄、菊地寛、芥川龍之介、斎藤茂吉ら当代一流の芸術家・文人が出入りする有名ホテルとなり、羽根田の成功を知った郷土の人々が続々上京し、本郷一帯に本郷旅館街を形成したことはよく知られています（現在四〇軒近い旅館の約半数が岐阜県ゆかりの経営者だそうです）。実業界のほか、東京帝国大学教授、同付属病院院長、同医科大 学長、日本外科学会初代会長、貴族院議員を務めた佐藤三吉（大垣市出身）や帝国大学農科大学長、東京帝国大学総長を

務めた松井直吉（大垣市出身）がおり、明治期から優秀な西濃出身者が中央で活躍しました。

このように、重要な産業基盤を有し、進取教育の精神に富んだ西濃地区から、毎年多くの学生が上京しています。岐阜県の平成十九年における高校卒業後の大学・短大進学率は五三・五％（十三位）であり、毎年一〇〇〇名余が首都圏の大学等に進学しています。

他方、首都圏では、出身高校を中心に同窓会が組織されていますが、在京岐阜サミット（東京における岐阜県出身者の高校同窓会や地域の親睦会の代表者の集まり）の会員名簿によれば、岐阜地区（岐阜高校、岐阜北高校、長良高校、加納高校、岐阜商業高校、岐阜工業高校、本巣松陽高校）、東中濃地区（多治見北高校、瑞浪高校、中津高校、斐太高校、関高校、武義高校）、飛騨地区（東京飛騨会、岩村高校）と比べて、西濃地区（大垣北高校、大垣商業高校、大垣工業高校）の同窓会はかなり少ないといわざるを得ません。

そこで、西濃出身者の首都圏における

親睦交流を深め、もって地元西濃地区の更なる発展へとつなげるべく、西濃地区出身者のための首都圏同郷組織として、前東京岐阜県人会会長 立川敬二氏（元NTTドコモ代表取締役、元JAXA理事長）とご相談しながら、東京岐阜県西濃会の設立に至りました。

創立総会は五四名の参加のもと、盛大に開催されました。創立総会に続いて懇親会が開催され、リコーダー奏者の早崎靖典氏とピアニストの川瀬史康氏（いずれも会の関係者）による生演奏が流れる中、ドラマ半沢直樹のロケ現場となった大垣共立銀行東京支店の支店長による裏話の披露もあり、参加者間の親睦が大いに深まりました。今後は会員の意見を反映しながら魅力ある活動を展開する予定です。大垣北高校同窓会の皆様にも是非当会に参加いただきたいと思っております。

当会のメールアドレスは  
 <tokyogifuseinokai@yahoo.co.jp>  
 です。

東京岐阜県西濃会会長 杉野 由和  
 （弁護士・大垣北中・岐阜高校卒）



## 推敲残照

北高一回 宇野 郁夫

(一)

前号に故事成語『推敲』について、見てきたような脚色を交えたエピソードを書きましたが、書いている傍から二つの疑問が浮かびました。つまり、カトウ君はカンユ大先生の助言を生かしてどんな漢詩を作ったのか？そしてロバに乗って行った科挙の結果はどうだったのか？先ずその漢詩から見てみましょう。

『李欵の幽居に題す』

間居隣竝少なし

草径荒邨に入る

鳥は宿す池中の樹

僧は敲く月下の門

橋を過ぎて野色を分かち

石を移して雲根を動かす

暫く去って還た此に来らん

幽期言に負かず

確かに助言の通り『僧は推す』ではなく『僧は敲く』と詠んでいます。カナリ冷たい感じのする詩でアマリ好意的な

注釈書も見当らずマコトニ残念！

(二)

私の予想に反し、カトウ君はその時の科挙にミゴトニ失敗します。残念！この後何回も失敗を繰り返した末、官吏になるのを諦めて、ナント僧侶になつてしまいます。それを知ったカンユ大先生は彼を還俗させて低位の官吏職につけ、作詩を続けるよう勧めます。

韓愈は大変な硬骨漢で皇帝や有力者を批判して二度も地方に左遷されますが、一度目は徳宗の死によって二度目は憲宗の死によって恩赦を受け、三たび中央に返り咲くという強運の持ち主です。

強運の士の行列に衝突して終生愛され続けた詩人賈島サンのはうは好運の士と云うべきでしょう。

惜しげもなく運のオスソワケをする韓愈の元には孟郊、賈島、李賀、張籍、王建など多済な士が集います。その中で孟郊と賈島の詩は『郊は寒、島は瘦』という批判的世評を受けますが、韓愈自身も平易と通俗を良しとする当時の詩壇の傾向をヒドク嫌っており、この二人の門人のイワユル『寒』オヨビ『瘦』ナル作風

をムシ口高く評価していたようです。

(三)

詩人カトウさんはカンユ大先生の死後も詩壇の動向に背を向けて、より適した表現はないか、無駄な字句はないか骨身を削るように苦吟して、推敲に推敲を重ねる作詩態度が続けます。しかし、これもまたマコトニ残念な事に『瘦』ナル作風が災いしたものが、人口に膾炙した作品はゴクゴクマレに終わります。

日本で言えば平城帝、嵯峨帝のころ夜寒に粗衣をまとい筆を噛みながら詩作に耽る乱杭歯の瘦せたオジサン回りにはホゴがイッパイ。

カンユ大先生が愛したのはカトウさんの才能というよりはこうした青年のような青臭いまでのストイックさが堪らなくイトオシかったのかも知れませんか。

『推』と『敲』によって好運をえ、推敲に明け暮れて一生を貫いた詩人、この特異な生き方の賈島サンを、歴史の闇の中から残照のように浮かび上がらせてくれるのはナンタツテソリアアアタタ故事成語の『推敲』ザンシヨウ？!

(おわり)

事務局だより

会報へ投稿のお願い

会報に掲載する文章の原稿を広く募集しています。堅苦しくない文章のほうが会報に向いています。構えないで書いてみてください。

- ①長さは、1300字〜1800字。
- ②内容としては、ふるさとの往時の思い出を共有できるような文章、例えば大垣弁や郷里の町の名前が入っている文章などが一番好ましいでしょう。
- ③期限は、毎年5月中旬を一応の目安とします。
- ④送り先

横浜市都筑区牛久保西4-3-17

堀内津子さん 方。

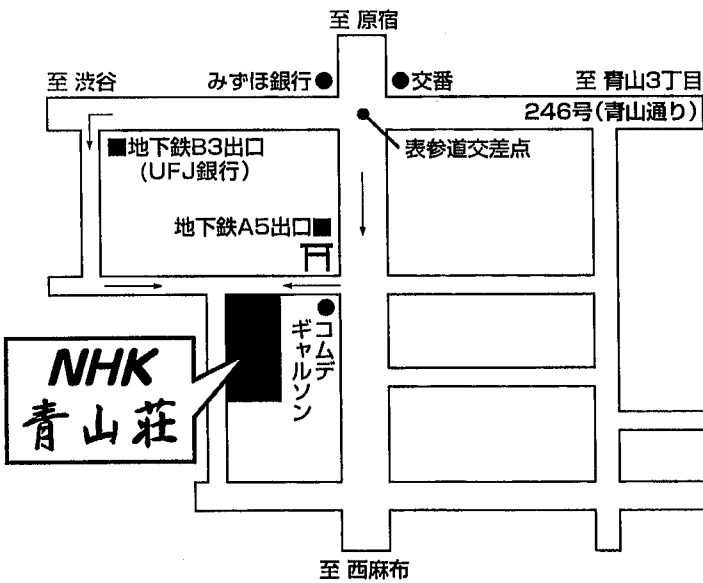


Illustrated by Y.Takatsu

年会費納入のお願い

平成26年の年会費(二千円)の納入をお願いいたします。

なお、今年の総会にご出席の方は、総会当日(十月五日)会場受付にて申し受けますが、ご都合が悪くご欠席される方は、大変恐縮ですが同封の郵便振替用紙をご利用の上、納入くださるようお願いいたします。



編集後記

今号はバラエティに富んだ原稿が集まり、楽しい編集作業になりました。

戸田さん——赤坂の香龍サンが天清院という名のお寺だった事や上人の立派な事績を初めて知りました。

松岡さん——百座登頂おめでとう！病後に二一座も登るなんて驚きです。

中島さん——とても良い本の紹介、御苦労さま。総会での写真撮影も宜しくネ。

藤本さん——新鮮で美味しそうな野菜、羨ましい。留守のポストに届けるなんて温かいなあ。私、隣に住みたかった。

高津さん——ポストカードの植物画、本当に素晴らしいです。縮小しての紹介になりお許し下さい。これに懲りずに！

大石さん——お仕事に、旅行に、当会の役員と、とても忙しいのに投稿を依頼してごめんなさい。又お願いするかも。

皆さん本当に有り難うございました。

・お悔み・

当会、会計担当役員の各務武司(北高(二回)さんが急逝されました。心から、ご冥福をお祈りします。

(WM・OM・UI)